

※本レジメン集は外来化学療法加算の算定を行っているレジメンのみを掲載。  
※当加算を取れない治療法や削除となったレジメン等のため、登録記号・番号に欠番がある場合あり。

## E胆道がん1

対象疾患	胆道がん	レジメン名	GEM単剤療法		
1コースの期間(休薬期間含む)	28日				
総コース数	制限なし				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1、8、15
2	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1、8、15
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
3	ゲムシタビン(GEM)	1000 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	30分	day 1、8、15
	生食100 mL	1 P ※備考欄参照			
4	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1、8、15
血管外漏出 リスク分類	GEM: 炎症性				
催吐性リスク分類	GEM: 軽度				
インラインフィルター の要不要	不要				
備考欄	※GEMは、液剤を用いる場合は、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量100 mLとなるように希釈する(院内ルール)。				

## E胆道がん2

削除

S-1単剤療法

### E胆道がん3

対象疾患	胆道がん	レジメン名	GEM+CDDP療法(GC療法)		
1コースの期間(休薬期間含む)	21日				
総コース数	制限なし				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1、8
2	生食500 mL	1 P	点滴静注	60分	day 1、8
3	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1、8
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
4	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~3 day 9~10
5	ゲムシタビン(GEM)	1000 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	30分	day 1、8
	生食100 mL	1 P ※備考欄参照			
6	シスプラチン(CDDP)	25 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	60分	day 1、8
	生食250 mL	1 P			
7	20% マンニトール 300 mL	0.66 P	点滴静注	30分	day 1、8
8	生食500 mL	1 P	点滴静注	60分	day 1、8
血管外漏出 リスク分類	GEM: 炎症性 CDDP: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 中等度(GEM: 軽度 CDDP: 中等度) ※本レジメンのCDDPは25 mg/m <sup>2</sup> と低用量のためリスク分類は中等度扱いとなる				
インラインフィルターの 要不要	不要				
備考欄	<p>※GEMは、液剤を用いる場合は、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量100 mLとなるように希釈する(院内ルール)。</p> <p>※CDDP総投与量200~300 mg/m<sup>2</sup>を超える場合は蓄積性の神経毒性注意。</p>				

## E胆道がん4

対象疾患	胆道がん	レジメン名	S-1+GEM療法(GS療法)		
1コースの期間(休薬期間含む)	21日				
総コース数	制限なし				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム (S-1)	※備考欄参照	経口		day 1~14
2	生食100 mL(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1、8
3	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1、8
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
4	ゲムシタピン(GEM)	1000 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	30分	day 1、8
	生食100 mL	1 P ※備考欄参照			
5	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1、8
血管外漏出 リスク分類	GEM: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 軽度(S-1: 軽度 GEM: 軽度)				
インラインフィルター の要不要	不要				
備考欄	<p>※GEMは、液剤を用いる場合は、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量100 mLとなるように希釈する(院内ルール)。</p> <p>※S-1投与量は以下の通りである(いずれも1日2回朝夕食後の分2投与)(F法、投与量注意)。</p> <p>BSA 1.25 m<sup>2</sup>未満: 60 mg/day(朝食後40 mg 夕食後20 mg)、BSA 1.25 m<sup>2</sup>以上1.5 m<sup>2</sup>未満: 80 mg/day、</p> <p>BSA 1.5 m<sup>2</sup>以上: 100 mg/day</p>				

## E胆道がん5

対象疾患	胆道がん	レジメン名	Durva+GEM+CDDP療法 (Durva+GC療法)		
1コースの期間 (休薬期間含む)	21日				
総コース数	8コース				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL (ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1、8
2	生食500 mL	1 P	点滴静注	60分	day 1、8
3	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1、8
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
4	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~3 day 9~10
5	生食50 mL (フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
6	デュルバルマブ (Durva)	1500 mg/body ※備考欄参照	点滴静注	60分	day 1
	生食250 mL	1 P			
7	生食50 mL (フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
8	ゲムシタピン (GEM)	1000 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	30分	day 1、8
	生食100 mL	1 P ※備考欄参照			
9	シスプラチン (CDDP)	25 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	60分	day 1、8
	生食250 mL	1 P			
10	20% マンニトール 300 mL	0.66 P	点滴静注	30分	day 1、8
11	生食500 mL	1 P	点滴静注	60分	day 1、8
血管外漏出 リスク分類	Durva: 非炎症性 GEM: 炎症性 CDDP: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 中等度 (Durva: 最小度 GEM: 軽度 CDDP: 中等度) ※本レジメンのCDDPは25 mg/m <sup>2</sup> と低用量のためリスク分類は中等度扱いとなる				
インラインフィルター の要不要	Durva投与のため、0.2又は0.22 µmインラインフィルター (ポリエーテルスルホン製) を使用				
備考欄	<p>※Durvaの投与量は体重30 kg以下の場合、20 mg/kgである。</p> <p>※GEMは、液剤を用いる場合は、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量100 mLとなるように希釈する(院内ルール)。</p> <p>※CDDP総投与量200~300 mg/m<sup>2</sup>を超える場合は蓄積性の神経毒性注意。</p>				

## E胆道がん6

対象疾患	胆道がん	レジメン名	Durva単剤メンテナンス療法		
1コースの期間(休薬期間含む)	28日				
総コース数	制限なし				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1
2	デュルバルマブ (Durva)	1500 mg/body ※備考欄参照	点滴静注	60分	day 1
	生食250 mL	1 P			
3	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
血管外漏出 リスク分類	Durva: 非炎症性				
催吐性リスク分類	Durva: 最小度				
インラインフィルターの の要不要	Durva投与のため、0.2又は0.22 µmインラインフィルター(ポリエーテルスルホン製)を使用				
備考欄	※本レジメンは、E5 Durva+GC療法後のメンテナンス療法である。 ※Durvaの投与量は体重30 kg以下の場合は、20 mg/kgである。				

## E胆道がん7

対象疾患	胆道がん	レジメン名	Pembro+GEM+CDDP療法 (Pembro+GC療法)		
1コースの期間(休薬期間含む)	21日				
総コース数	8コース				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1、8
2	生食500 mL	1 P	点滴静注	60分	day 1、8
3	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1、8
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
	デキサメタゾン1.65 mg	2 A			
	パロノセトロン0.75 mg	1 V			
4	デキサメタゾン4 mg	2 T	経口		day 2~3 day 9~10
5	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
6	ペムブロリズマブ (Pembro)	200 mg/body	点滴静注	30分	day 1
	生食100 mL	1 P			
7	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
8	ゲムシタビン (GEM)	1000 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	30分	day 1、8
	生食100 mL	1 P ※備考欄参照			
9	シスプラチン (CDDP)	25 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	60分	day 1、8
	生食250 mL	1 P			
10	20% マンニトール 300 mL	0.66 P	点滴静注	30分	day 1、8
11	生食500 mL	1 P	点滴静注	60分	day 1、8
血管外漏出 リスク分類	Pembro: 非炎症性 GEM: 炎症性 CDDP: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 中等度 (Pembro: 最小度 GEM: 軽度 CDDP: 中等度) ※本レジメンのCDDPは25 mg/m <sup>2</sup> と低用量のためリスク分類は中等度扱いとなる				
インラインフィルター の要不要	Pembro投与のため、0.2~5 μmインラインフィルターを使用				
備考欄	<p>※GEMは、液剤を用いる場合は、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量100 mLとなるように希釈する(院内ルール)。</p> <p>※CDDP総投与量200~300 mg/m<sup>2</sup>を超える場合は蓄積性の神経毒性注意。</p>				

## E胆道がん8

対象疾患	胆道がん	レジメン名	Pembro+GEMメンテナンス療法		
1コースの期間(休薬期間含む)	21日				
総コース数	制限なし				
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
1	生食100 mL(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1、8
2	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1、8
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
3	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
4	ペムブロリズマブ(Pembro)	200 mg/body	点滴静注	30分	day 1
	生食100 mL	1 P			
5	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
6	ゲムシタビン(GEM)	1000 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	30分	day 1、8
	生食100 mL	1 P ※備考欄参照			
7	生食500 mL	1 P	点滴静注	60分	day 1、8
血管外漏出 リスク分類	Pembro: 非炎症性 GEM: 炎症性				
催吐性リスク分類	レジメン全体: 軽度 (Pembro: 最小度 GEM: 軽度)				
インラインフィルターの 要不要	Pembro投与のため、0.2~5 μmインラインフィルターを使用				
備考欄	<p>※当レジメンは、E7 Pembro+GC療法のCDDPを除いたメンテナンス療法である。</p> <p>※GEMは、液剤を用いる場合は、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量100 mLとなるように希釈する(院内ルール)。</p>				